様式3

学 校 番 号

84

令和 4 年度　学校評価書　（計画段階・実施段階）

福岡県立東鷹高等学校全日制課程

自己評価

学 校 運 営 計 画 （4月）

			評　価（総　合）
学校運営方針	人権教育を根幹に据え「りっぱな社会人を育てる」ことを学校運営方針とし、社会に必要とされる人材、社会に貢献できる人材の育成に努める。		
昨年度の成果と課題	年 度 重 点 目 標	具 体 的 目 標	
【成果】 生徒の特性に応じた進路指導 【課題】 基礎学力の更なる向上	基本的な生活習慣の確立	挨拶のクオリティーアップ・気づきを高めた掃除の徹底	
	良好な人間関係づくり	教育相談や個別支援の充実	
	学力向上のための授業改善	ICTを活用した授業の工夫および観点別評価の工夫	
	勤労観・職業観の育成と進路意識の向上	3年間の進路計画の作成、インターンシップの等のキャリア教育の充実	
	地域に信頼される魅力ある学校づくり	学校行事や部活動の活性化、地域貢献活動への積極的参加	
	安全安心な学校づくり	いじめの早期発見・早期対応を心掛け、家庭との連絡・連携を密に行う。	

評価項目	具体的目標	具 体 的 方 策	評価（3月）			次年度の主な課題
学務	学力向上のための教育課程・授業改善	新学習指導要領に基づく教育課程を編成し、観点別評価を活用し学力向上を図る。				
		生徒の実態に応じた学び直しや基礎学力向上のためにICT機器等の効果的活用を推進する。				
	円滑な学校運営に係る諸業務の充実	PTA・同窓会と連携し充実した学校行事を行うとともに、本校の魅力を外部へ発信する。				
		スクールエンジンの操作方法を周知するとともに、ICT活用の推進を図る。				
	職員研修の充実発展	各種研修会を計画的に実施する。				
		主体的・対話的で深い学びに向けた、創意工夫ある授業を充実させる。				
生徒指導	全生徒が安心して学校生活を送ることができる生徒指導	他者が気持ちよく、勇気づけられる気持ちを込めた挨拶で、自信をつけさせる挨拶の指導。				
		立派な社会人を育てるための身嗜みを身につけさせる。				
	安心して過ごせる学校環境づくり	新型コロナウイルス感染拡大防止対策の習慣化を図る。				
		快適な環境のもとで学校生活を送ることができるよう、校内美化活動を推進する。				
進路指導	生徒の第一希望進路の実現	明確な進路意識を持たせ、受験対策を早期から組織的に行う。				
		外部とも連携し、常に新しい情報が提供できるように環境を整える。				
	進路意識・職業観の育成	健全な生き方・あり方を考えさせ、職業観と進路意識を向上させる。				
		第一希望進路を実現するための計画的・体系的な進路体制の確立に努める				
人権・同和教育	人権文化あふれる学校づくり	差別事件を教訓化・教材化し、教師・生徒がともに考える人権・部落問題学習を展開する。				
		研修を充実させ、全教科・全領域での人権・同和教育を推進する。				
	特別な教育的支援を必要とする生徒への支援を推進する。	「気づきシート」や健康診断などを通して得た情報を、関係職員で共有し、共通理解を図る。				
		必要に応じて保護者や外部機関・校内各部と連携を図り、実施可能な支援方法を検討する。				
1学年	規律ある生活習慣の確立	「立ち止まって挨拶」、「チャイム席」、「5分前集合」を定着させる。				
		日常の清掃活動を徹底し、教室など身の回りの整備に努めさせる。				
	基礎学力の向上・充実	授業を中心とした学習習慣を確立させる。				
		学びの基礎診断や学び直しの時間（底力タイム）を通して学びに対する意欲を持たせる。				
2学年	社会人として通用する態度・習慣の確立	「チャイム席」「10分前行動、5分前集合」「立ち止まって挨拶」を定着させる。				
		TPOに合わせた行動を実践し、周囲に配慮した言動をとることができるように促す。				
	効果的な進路指導の充実	課外授業への積極的な参加を促し、進路意識を高めるとともに、学力向上への意欲をもたせる。				
		進路情報の発信を積極的に行い、自らの進路についての情報収集をする力を養う。				
3学年	第一希望進路の実現	スタディサプリを活用し、希望進路実現に向けた学習のマネジメントを行う。				
		保護者と情報を共有し、進路実現に向けて連携を密にする。				
	豊かな人間性の育成	生徒会役員を中心に、東鷹高校をリードできる学年集団づくりを目指す。				
		学校行事等を通して協調性を育み、コミュニケーション能力の向上を目指す				
総合生活科	専門的な知識・技術の向上	年8回実施する社会人特別講師招聘事業により、効果的な授業展開を図る。				
		2冠王取得者20名以上、3冠王、4冠王取得者それぞれ1名以上を目指す。				
	共に働きたい人材を育てる。	インターンシップ（5日間実施）を通して、正しい勤労観、職業観を育成する。				
		総合生活科発表会等の生徒の主体的な活動を通して、責任感や協調性を培う。				

学校関係者評価

評　価（総　合）	自己評価は A ： 適切である B ： 概ね適切である C ： やや適切である D ： 不適切である

項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見